



大原美術館特別展示室の有隣荘は、かつて大原家の個人邸宅であった。和・洋・中の様式がハイブリッドに構成された有隣荘の各部屋は、さまざまな光と陰を織りなす。絵もそれをそのままに受け止め展示された。

逆光でよく見えないそのままに青い絵を。燦々と光の降り注ぐガラス張りのスペースに緑の燃えるような絵を。またほの暗い和室の障子越しの畳の上に、やわらかな陰影を映す絵を。

個展タイトルである「キズと光」は、丁寧に手入れされ継受された有隣荘の凜とした佇まいとおおらかさが、新作を制作している間、少しずつキズを癒していく光のように私の心照らし続けたことに由来する。

ある様相を経て具現化した作品が、私たち観者の生活することと共にあることを願っている。

(二〇一五年年度特別研究制作研究費助成)

東島 毅 キズと光  
Tsuoyoshi Higashijima : Scar and Stream  
大原美術館有隣荘(岡山)  
Ohara Museum of Art Yunso, Okayama, Japan  
二〇一五年四月二十四日(金)〜五月一〇日(日)

右ページ  
右上 「透明なものど不透明なもの」、油彩、カンバス、291×218.5cm、2015  
左上 「キズと光2」、油彩、カンバス、227×181cm、2015  
「塵にみつける」、油彩、カンバス、62.2×53.2cm、2014  
右下 「光のすきま」、油彩、カンバス、291×218.5cm、2015  
左下 「Untitled」、ガラス、合成樹脂、15.5×40.5×13cm、2011

左ページ  
右上 「受け止めるものすきま1」「受け止めるものすきま2」、油彩、カンバス、193×244.5cm、2015  
左上 「あちの白」、油彩、アクリル、カンバス、194×162cm、2015  
右下 「Untitled(See-Ost)」、油彩、鉛筆、和紙(2枚重)、100×67cm、2012

インスタレーションビュー、有隣荘 2015年  
撮影：アドボックスフォトグラフィ